Press Release

2025 年 6 月 17 日

報道関係各位

Tebiki 株式会社

小島プレス工業グループの自動車部品メーカーである上松電子、動画教育システム「tebiki 現場教育」を導入

動画マニュアルの活用によって塗装工程の不良見逃し率を大幅に削減

デスクレスワーカー向け現場支援システム tebiki を提供する Tebiki 株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役：貴山敬）が提供する動画教育システム「tebiki 現場教育」が、上松電子株式会社（本社：長野県木曽郡上松町、取締役社長：古畑 明）に導入されたことをお知らせします。

■ 導入の背景

上松電子株式会社は、長野県木曽郡上松町に本社を置く自動車部品製造会社です。同社は、USB ジャックや e-ラッチ、アンテナ等の電子部品に加え、プラグタイト、電池パック関連のプレス品といった金属部品といった自動車部品を製造しています。

同社の工場では、塗装工程で発生する不良が後工程である組立工程に流出するという課題を抱えていました。不良を見落としてしまう原因を追求し、検査作業方法と検査環境を見直した結果、不良見逃し率を低減させることに成功しました。さらに、組立工程で既に導入済みで、外国人にも検査手順をわかりやすく伝えることができるという効果が出ていたtebiki 現場教育を塗装工程に展開し、検査作業などに関する動画マニュアルを作成しました。その動画マニュアルを活用して作業者への教育を繰り返し実施したことで、作業者全員が手順通りに作業ができるようになり、不良見逃し率を大幅に減少させるという成果を出しています。

tebiki 現場教育の導入によって社内コミュニケーションも活性化し、以前は外国人派遣社員との会話に言葉の壁を感じていたものの、意思の疎通がより図れるようになり、笑顔の多い明るい雰囲気に変わったと実感していただいています。

■ 動画教育システム「tebiki 現場教育」

「tebiki 現場教育」は、製造業を中心に、物流・飲食・介護・各種サービス業などのデスクレスワーカーが働く現場向けの動画教育システムです。

当社代表の食品工場長としての経験を土台に開発された「tebiki 現場教育」は、難しいシステム操作を現場に強いるのではなく、作成から編集まで誰でも最新動画技術を直感的に使いこなせる UI が特長です。現場の OJT をスマートフォンで撮影するだけで、音声認識技術で字幕が自動生成され、シーンの削除や静止などの動画編集、音声吹き込みや図形挿入、自動翻訳が可能。さらに、動画閲覧データを自動分析して誰がどこまで習熟したかを可視化し、スタッフの習熟度管理をリアルタイムに行うことができます。

サービスサイト：https://tebiki.jp/

■ Tebiki 株式会社について

「現場の未来を切り拓く」をミッションに掲げ、デスクレスワーカー向けの現場支援システムを開発・提供しています。
簡単に動画マニュアルが作成でき、閲覧データや習熟度を可視化できる動画教育システム「tebiki 現場教育」や、現場帳票の雛形作成から蓄まったデータの可視化・分析まで可能な電子帳票システム「tebiki 現場分析」を提供しており、現場における安全・品質・効率といった現場 KPI の改善に貢献しています。

代表者名　：貴山 敬
事業内容　：デスクレスワーカー向け現場支援システム tebiki の開発・提供
企業サイト　：https://tebiki.co.jp/
採用ページ　：https://tebiki.co.jp/recruit.html

※ 本リリースに記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です